

令和 7 年度
教育福祉常任委員会行政視察報告書

令和 7 年 5 月 1 5 日（木）～ 1 6 日（金）

静岡県焼津市・静岡県富士市

視 察 報 告 書

次のとおり実施したので報告します。

1 期 間	令和7年 5月15日(木) ～ 5月16日(金)	
2 場 所	静岡県焼津市	静岡県富士市
	人口	134,668人
	面積	245,514人
3 調査事項	教育福祉行政について ○子育て支援施設運営事業(ター ントクルこども館)について	教育福祉行政について ○健康ポイント事業について
4 視察内容 所 感 等	別紙のとおり	
5 視察議員 氏 名	【委員長】内田美恵子 【副委員長】江川克哉 【委員】日暮俊一 甲斐俊光 島田安子 岩井康 芝田真代	
6 資 料	別添	

令和7年 5月26日

我孫子市議会議長 様

教育福祉常任委員会 委員長 内 田 美恵子



子育て支援施設運営事業（ターントクルこども館）視察報告

報告者：内田美恵子

視察日時：2025 年(令和 7 年)5 月 15 日(木) 13:15～15:15

視察場所：静岡県焼津市ターントクルこども館

(静岡県焼津市栄町 5-1-1 TEL: 054-631-6165)

説明者：こども未来部子育て支援課 課長 山梨 のぞみ 様

ターントクルこども館 館長 曾根 俊則 様

こども未来部子育て支援課子育て政策担当 係長 吉田 恵理香 様

議員参加者：江川克哉、日暮俊一、甲斐俊光、島田安子、岩井 康、芝田真代、
内田美恵子

随行者：佐藤 希(議会事務局次長補佐)

1. 視察目的

人口減少、超少子高齢化のなかで、住宅都市である我孫子市は歳入の根幹である個人市民税などの歳入が伸び悩み、その一方で高齢化による医療費や介護給付費などの社会福祉関係経費は増大し、厳しい財政状況に直面しています。

持続可能なまちにしていくためには、子育て世代の移住・定住策に力を入れていく必要があります、これまで以上に子育て支援策の充実を図らなければなりません。

焼津市は、「ママ・パパになるなら焼津市！」を掲げ、市の基本計画に「子育て支援の充実」を重点施策の一つとしています。そして、「子育て支援の充実」を進めるために、市長戦略会議の案件の一つとして「子育て支援の効果的事業の構築」を位置付け、その構想に向けて「こども総合センター構想」を策定しました。その構想のなかで「こども相談センター」の設置と合わせて、「小学生以上を含む幅広い年齢層の子どもが、屋内で集い、遊べる機能」を持ったターントクルこども館が整備されました。

焼津市の一步進んだ総合的な子育て支援施設運営事業の視察を通して、これからの我孫子市の子育て支援策の参考にしていきたいと考えています。

2. 焼津市の子育て支援施策 ～やっぱり、ママ・パパになるなら焼津市！～

(1) 焼津市の子育て支援（5本の柱）

1 経済的負担の軽減

A 多子世帯等の保育所、公立幼稚園保育料の軽減

- B 認可外保育施設利用者助成拡充
- C 子ども医療費助成の拡充

II 子育て環境の整備

- A 放課後児童クラブの施設整備
- B 産婦健康診査、産後ケア事業
- C ターントクルこども館の建設

III 相談体制の充実

- A ホットスルこども相談センターの機能強化
- B 発達支援事業
- C 養育支援訪問事業

IV 教育環境の充実

- A 「学び舎ニコニコ元気計画」による整備
- B 幼稚園・小中学校猛暑災害対策事業（空調整備）
- C ブロック塀の撤去事業

V 学校の教育力向上

- A 焼津市教育センターの設置
- B 教師力強化事業
- C 授業、学習支援事業
- D 英語指導助手配置事業
- E 小1サポーター配置事業

3. ターントクルこども館について

(1) 整備方針①

- 第5次焼津市総合計画後期基本計画（H26～30）の重点施策の一つとして「子育て支援の充実」
- 焼津未来創生総合戦略（H27）の基本目標実現のための施策として、「こども未来パーク創造事業」（小学生以上を含む幅広い年齢層の子どもが、屋内で集い、遊べる機能を持った施設を作る）

- 焼津ダイヤモンド構想（H29）でにぎわい拠点（行政・交流機能）のまちづくりとしてターントクルこども館整備事業

整備方針② 市長戦略会議（H28）における方針

「子育て支援の充実」及び「こども未来パーク創造事業」を進めるため、市長戦略会議の案件の一つとして、「子育て支援の効果的事業の構築」を位置付け、その構築に向けて「こども総合センター構想」を策定

- 子育てに関する総合的な窓口機能→H29年度から「こども相談センター」をこども未来部内に設置
- 小学生以上を含む幅広い年齢層の子どもが、屋内で集い、遊べる機能→「屋内の子どもの遊び場」は、H29年度に基本構想を策定し、概ね4年程度以内の施設整備を行う

(2) 整備基本構想① 基本理念 ～集い・遊び・学び～

- ・未来を担うすべての子どもたちが、限らない夢と創造力を持ち、健やかに成長していくために、「集い・遊び」の機能に加え、読書や体験などの成長段階に応じた「学び」の機能を有する複合的な機能を配置する。
- ・子どもを中心とした保育者や幅広い世代の人々、子育て支援団体等が交流できる子育て支援の拠点を目指すことを基本理念とする。

整備基本構想②

- 整備場所：旧福祉庁舎跡地
- 施設名称：多くの来場者でにぎわう施設となることを願い、「たくさん来る」を焼津市の方言で表したターントクルこども館とした。
- 概算事業費
 - ・当時、約15億円を見込む。財源はふるさと寄附金基金及び合併推進債を活用。
- 管理運営形態
 - ・公設民営

(3) 建築デザインコンセプト

基本理念：未来を担うすべての子どもたちが、健やかに成長していくために、集い・遊び・学びの複合的な機能を配置し、子どもを中心とした多世代交流ができる子育て支援拠点をを目指す。

(4) 運営計画

- ①開館時から当面は、市の直営とする計画。
- ②「市民協働型の運営体制」を実現するため、市民人材の育成を図るとともに、この人材により構成する法人の設立を支援していく。
- ③開館からおおむね3年後には、当該法人が指定管理者となり、将来にわたって、管理・運営を担っていく姿を目指していく。



R6から、指定管理者として一般社団法人「ことこと」がこども館を管理・運営

(5) 開館について

- 竣工式：R3年6月6日
- 開館記念式典：R3年7月4日

(6) 施設概要

- 1 施設名称：ターントクルこども館
- 2 設置場所：焼津市栄町五丁目地内
- 3 敷地面積：1,614.90 m²
- 4 建物の構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- 5 建物の階数：地上3階建
- 6 建物の延床面積：2,753.96 m²
- 7 総事業費：17億円 ※駐車場と土地の買取で当初見込みより2億円増加

(7) 施設の機能

① やいづ えほんと (1階 中2階)

●こども図書館のコンセプト えほんとお

- ・えほんと創造：こどもたちの自由を妨げない、クリエイティブな場
- ・えほんと出会い：本を通じた新しい世界との出会いの場
- ・えほんと安心：親が安心できる場

※図書の貸し出しなし

② 焼津おもちゃ美術館 (2階・3階)

●おもちゃ美術館のコンセプト

全国のおもちゃ美術館で人気のある、自然の恵みを感じて五感を使って遊ぶことのできる木製の玩具や遊具のほか、焼津の伝統文化、産業などをモチーフとした空間デザインやオリジナル遊具を導入することによって、他にはない、「焼津おもちゃ美術館」ならではの体験の場を整備。

ハード面：静岡県大井川産材を中心とした木材活用。

地元木工職人による遊具等の製作を行う。

ソフト面：木を使って遊ぶプログラムを子どもたちに提供することにより、体験を通して「学ぶ」機会を創出する。

③ 飲食スペース・ミュージアムショップ

- 1 階の飲食スペースでは、子ども図書館の絵本を読むことができ、絵本やおもちゃと連動した食育イベントなど開催していく。

※(株)ハグコーヒーカンパニー

- 1 階のミュージアムショップでは、館内での人気のおもちゃを中心に子どもから大人まで楽しめる木のおもちゃを多数取り揃えている。

※R6 年から指定管理者が運営

(8) ターントクルこども館の運営

- ①開館時間：やいづえほんと 午前 9 時から午後 7 時まで

焼津おもちゃ美術館 午前 10 時から午後 4 時まで

- ②休館日：●水曜日（休日に当たるときは、その翌日以降の最初の平日）

●12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までの日

- ③入館料：●ターントクルこども館：無料

●焼津おもちゃ美術館（市内）：

- ・1 歳未満と 1 歳以上の未就学児 無料
- ・小学生 100 円、中学生・高校生・シニア 200 円
- ・大人 500 円

●焼津おもちゃ美術館（市外）：

- ・1 歳未満 無料
- ・1 歳以上の未就学児と小学生 500 円
- ・中学生・高校生・シニア 700 円 ・大人 1,000 円

※焼津おもちゃ美術館入館料の減免

- ・学校等が教育活動及びこれに類する目的のために利用するとき

市内 免除

市外 2分の1の額を減額

- ・障害者が利用するとき

市内 免除

市外 2分の1の額を減額

(9) 運営状況 (R6 年 12 月末現在)

年度	こども館来館者数	うち、おもちゃ美術館
R3 年度	4 6, 7 2 6 人	4 1, 5 1 4 人
R4 年度	8 0, 9 3 0 人	7 3, 2 1 4 人
R5 年度	9 5, 5 9 8 人	8 6, 7 6 6 人
R6 年度	7 1, 8 4 8 人	6 5, 4 6 0 人
累計	2 9 5, 1 0 2 人	2 6 6, 9 5 4 人

4. 所感

(1) 市長肝いりの効果的な子育て支援の拠点施設

ターントクルこども館の設立は、「子育て支援の充実」や「こども未来パーク創造事業」を進めるため、市長戦略会議の案件の一つとして、「子育て支援の効果的な事業の構築」を目指したものです。まさに、市長肝いりの子育て支援の効果的な素晴らしい拠点施設だと感じました。

(2) 多目的・多機能な施設の好例

焼津市では、既存の商店街に空き店舗も散見されましたが、そんな状況のなかで、ターントクルこども館は、まちづくりの方針を示す「焼津ダイヤモンド構想」のなかで、にぎわいの拠点としても位置づけられている施設です。

これまでの利用状況をみると、市内の入館者が3割、市外の入館者が7割と市外からの利用者が多く、市外から人を呼び込み、まちのにぎわいを創出する拠点ともなっています。

ターントクルこども館は、子育て支援とまちのにぎわいづくりという全く異

なった目的を持ち、また、様々な機能を持つ多目的・多機能な施設の良い例だと感じました。

(3) 施設の随所にみられる『やいづ愛』(地元愛)

施設の名称に焼津市の方言を使い、また、施設の建築資材やおもちゃ美術館の玩具等にも地元産の木を多用して地元の木工職人が制作し、天井の様式にも地元の歴史的な「かまぼこ様式」を活用しています。

また、焼津港は日本一のマグロやカツオなどの遠洋漁業の基地であり、地元の誇れる産業である漁業を子どもたちに伝えていきたいとの思いが、ターントクルこども館の随所に見られました。例えば、図書館の絵本やおもちゃ美術館の玩具、遊びにも魚や船や太平洋の大海原が使われていました。

さらに、ターントクルこども館の管理・運営は、育成した市民人材により構成する一般社団法人「ことこと」が指定管理者となって担うなど、市民協働型の運営体制を実現させています。

ターントクルこども館は、施設の随所に『やいづ愛』(地元愛)が感じられる市民の誇れる施設だと感じました。

令和7年5月17日

報告者 江川 克哉

令和7年度教育福祉常任委員会視察報告

富士市健康ポイント事業について

視察日時：令和7年5月16日（金）

視察場所：静岡県富士市本市場 432-1 フィランセ TEL 0545-51-0123(代表)

説明者：保健部健康政策課 課長 伴野 晃仁 様

保健部健康政策課 健康推進担当 主事 大岩 正和 様

参加議員：内田美恵子、日暮俊一、甲斐俊光、島田安子、岩井 康、芝田真代、江川克哉

随行者：議会事務局 次長補佐 佐藤 希

1. 視察目的

高齢化社会の到来により医療費、介護費の負担増の社会になっている。市民に歩くことに重点をおいた健康づくりに取り組んでもらえるようにすることにより、健康寿命を延伸しいつまでも健康でお元気な身体づくりをしてもらうことを目的としている。

2. ふじ健康ポイント事業導入のきっかけ

富士市では、24時間操業の三交代制工場勤務の市民が多く、メタボの人の割合が多い、毎日飲酒している人が多い、習慣的喫煙者が多い、がん検診の受診率が低い、若い世代での朝食欠食が多いなどの健康問題があった。

3. 導入の経緯

●「歩く」ことに着目

●様々な病気の予防などが期待できる

●医療費の削減に寄与する

1日1歩あたりの医療費抑制効果 0.065 円～0.072 円

●場所も経費もかからない

●魅力的なインセンティブの提供

●令和2年10月「ふじ健康ポイント事業開始」

目標：登録者数 5,000 人（令和5年度末）

●スマートフォンアプリ「グッピーヘルスケア」を使用

●デジタルギフト 1,000 円分プレゼント

歩数に応じて自動でポイントが貯まる



月に 1,000 ポイント以上貯まると翌月に自動で抽選に参加

●ポイントの貯め方

歩く 2,000 歩/日 10Pt 5,000 歩/日 +10Pt 8,000 歩/日 +10Pt

起動 アプリを起動したら 10Pt

記録 体重を記録したら 10Pt

イベント 指定の健康イベントに参加したら 100Pt

4. 実績

目標登録者数 令和5年度末 5,000 人のところ 8,444 人達成

令和6年度末 10,316 人

1日当たりの平均歩数

令和3年度 5,920 歩 令和6年度 6,450 歩

1人当たり推定年間医療費削減額 約 35,000 円

5. 周知方法

- ・多角的な事業周知 広報ふじ、地方新聞、子育て情報誌、フリーペーパー、ポスター、チラシ、カード
- ・スマホ講座での周知&登録補助 講師に対して研修の実施
- ・問い合わせ等の対応 対面（市担当者）、電話（アプリ提供者）

6. 決算額（委託料）

令和2年度（半年分） 3,591 千円

令和3年度 4,744 千円

令和4年度 4,770 千円

令和5年度 4,797 千円

令和6年度

4,571 千円

7. 将来の展望（令和6年～8年度）

- ・登録者 13,000 人以上
- ・壮中年層の登録者の割合 10%以上
※令和6年度末現在
- ・登録者数 10,316 人
- ・壮中年層の登録者の割合 6.1%
- ・マイナンバーカードとの紐づけやスマートウォッチとの連携

8. 課題点

- ・システム上市内・市外の住民の区別がつかないため、市民の医療費負担額算定が正確にできない

9. 所感

- ・富士市は面積が広く、平坦な地形や東名高速道路、東海道新幹線などの交通の利便性を活かし、化学、電気機械産業工場等の企業誘致が進んでいる。
- ・豊富な地下水に恵まれ、原料である木材の供給地や製品の消費地への近接などを背景に、製紙産業が集積し、全国有数の「紙のまち」として成長してきた。トイレットペーパーなどの家庭紙は、国内屈指のシェアを誇っている。
- ・富士山への登山ルートを有し、観光資源も豊富である。
- ・日本一深い駿河湾に接し、魚介類の水揚げも豊富。
- ・お茶も名産地でもあり、全国に出荷している。
- ・これらの理由により豊富な税収を得ている。不交付団体に近い財政状況のため、市民に寄り添った手厚いサービスができる。
- ・我孫子市の第3次心も身体も健康プランの普及啓発に、富士市の取り組みを取り入れることは大変有効であると考えた。